

鬼崎地区防災訓練に、榎戸地区の町内長が参加！

11月3日(文化の日) 鬼南小学校

プライベート空間の確保



避難所での生活を想定し、段ボール製の簡易トイレやベッドの組立て・製作を行った。手軽に入手できる資材を活用しつつ、快適性や衛生面に配慮した工夫が施されていた。



電源や照明、空調の確保

太陽光発電による蓄電が可能なりチウム電池への接続作業、LED 照明の組立て、体調管理に欠かせない空調設備の取り扱いについて説明を受けながら、設営等を実施した。いずれも簡単な操作であり、機能面も問題はなかった。



食料（炊き出し）等 の確保

炊飯は釜ではなく、災害救援用の炊飯ビニール袋に米と水を入れ、袋内の空気を抜いて輪ゴムで密封し、湯煎によって行った。

予想以上に美味しく仕上がり、非常時にも十分な食事が確保できることを確認した。なお、家庭においては非常食の備蓄が不可欠であると実感した。賞味期限の確認も忘れずに行いたい。



編集後記 : 防災訓練に参加し、「自助・共助」の重要性を考え、日頃の準備と地域のつながりが安心につながると感じた。

町内長：吉田政令・竹内信雄・斎田和則・伊藤友一



♪陶都 常～滑～ 港に町に～♪ 『常滑音頭』
を耳にすると自然に体が動きます。手拍子でちょんがちょん、両手を右へ、左へ…。子どものころに覚えたことは、年を重ねても身に付いているのですね。

今年の榎戸盆踊りもこの曲から始まりました。昨年より一回り、二回り大きいのではないかと思います。今年の新曲『マツケン サンバⅡ』などでは、ボランティア参加の中学生や子どもたちが輪の中心になりました。知多娘や子どもダンスチーム、よさこいチーム、祭囃子保存会なども盆踊りの雰囲気盛り上げました。各団体のブースやキッチンカーも昨年より賑わいを見せ、多くの売り上げがあったよ

笑顔あふれる榎戸の盆踊り

8月15日鬼崎中学校

うです。

参加の皆様からは「楽しかった」「映えスポットで撮った写真がきれいだった」「子どもの頃の盆踊りを思い出した」「何年かぶりに懐かしい友と出会えた」などの声をいただきました。御志納をいただいた榎戸区民や事業所の皆様、縁の下でご活躍いただいた各団体、ボランティアのお力添えに深く感謝申し上げます。

来年も、多くの方が楽しかった、やってよかったと感じられる盆踊りができたらと思います。



榎戸区長 藤堂正喜

榎戸区・榎戸コミュニティセンターのご案内



ENOKIDO

フェイスブック

<https://www.facebook.com/enokidoku2022/>

インスタグラム

<https://www.instagram.com/enokidoku/>



榎戸区ホームページ <https://enokido-tokoname.org/>

榎戸コミュニティセンター（GENKY 榎戸店 駐車場南の建物です）

〒479-0854 常滑市榎戸町Ⅰ丁目 80-Ⅰ

TEL/FAX 0569-77-6143

E-Mail enokido-ku@tac-net.ne.jp

平日午後1時から3時までスタッフ対応しますが、都合により不在の場合もあります。

